

「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」 完成報告、協定式

平成30年3月14日(水)に日高町門別総合町民センターにおいて「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」完成報告、協定式を開催しました。

タイムライン(事前防災行動計画)は、沙流川日高町富川地区で水害発生の可能性のある際に、早い段階から関係機関が連携して状況に合わせて防災行動をとるための新しい防災計画です。日高町富川地区では、沙流川の氾濫を想定して、平成29年度より5回の検討会等を行い、本年3月に「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を策定。このたび検討会事務局の3機関がタイムライン運用に向けた協定を締結しました。



【実施日時】 平成30年3月14日(水) 11:00～12:00

【実施場所】 日高町門別総合町民センター2階 大集会室

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 12機関 39名
座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会の辞

開会にあたり、室蘭開発建設部の平野部長から、沙流川日高町富川地区水害タイムラインが、沙流川の水災害に対する防災力向上につながることを期待するとの挨拶がありました。



タイムライン試行版の完成報告

室蘭開発建設部治水課の天野課長より「タイムライン試行版の検討経緯と概要」についての説明、続いて、室蘭地方気象台の田辺防災管理官より「タイムライン試行版の運用方針」についての説明が行われました。



手渡し式

検討会の座長である東京大学大学院の松尾客員教授から検討会の総括を頂きました。松尾座長からは、他地域のタイムライン運用の様子などが紹介され、タイムラインは運用と検証、改善の繰り返しを続けていくことが重要であるとお話がありました。その後、運用主体となる日高町の三輪町長にタイムライン試行版が手渡しされました。



協定式

司会である日高町総務課の湯村主幹から「沙流川日高町富川地区水害タイムラインに基づく連携に関する協定書」が読み上げられたのち、日高町の三輪町長、室蘭開発建設部の平野部長、室蘭地方気象台の加賀台長の三者による協定書への署名が取り交わされ、タイムライン運用協定の発効が宣言されました。



日高町長挨拶

協定締結後、三輪町長から挨拶がありました。三輪町長は、ハード対策と並行してソフト対策であるこのタイムライン試行版が策定されたことは大きな意味があり、今後も継続して関係機関の方々と、試行版の熟度を高めていきたいとお話されました。



閉会の辞

最後に閉会の辞として、室蘭地方気象台の加賀台長から、関係する皆様方の協力により、常に有効で実際的なタイムラインへと育て続けていただきたいのご挨拶があり、完成報告、協定式は閉会となりました。

